

news
atom
ニュースアトム

TEPCO

柏崎刈羽原子力発電所

OCTOBER
2024

10



- 若手運転員が福島第一原子力発電所事故の経験者から体験談を聞きました[発電所ニュース]
- 7号機にある使用済燃料38体を3号機へ輸送しました[発電所ニュース]
- 安全意識をさらに高め、地域の皆さまが安心できる運転員になります[発電所の一員として]
- おしえて!エコロン ● 協力企業の皆さんとの大縄跳び大会 ● サービスホール10月の催し

「紅葉と刈羽黒姫山」
柏崎市久米

若手運転員が福島第一原子力発電所事故の 経験者から体験談を聞きました

安全意識の向上と危機対応への認識を深めることを目的として、若手運転員が福島県浜通りを訪れ、事故当時、福島第一原子力発電所1号機の当直長であった伊澤郁夫氏(当社OB)による講話と対話を行いました。伊澤氏からは、若手運転員へ「運転員として使命感と責任感を持ってやり通し、努力し続けてほしい」という想いが伝えられました。

また若手運転員は、「東日本大震災・原子力災害伝承館※」や「震災遺構浪江町立請戸小学校」を訪れ、震災や福島第一原子力発電所事故が地域に与えた影響の大きさを現地で再認識しました。

※東日本大震災における地震や津波、福島第一原子力発電所事故の実態や復興に向けた歩みを展示している施設



講話の様子



東日本大震災・原子力災害伝承館
見学の様子

震災遺構浪江町立
請戸小学校見学の様子



参加した若手運転員のコメント

改めて震災当時の状況を知ることができ、責任の重さを痛感した。それを踏まえて、今よりもさらに安全意識を高めていかないといけないと思った。

事故対応の話聞いて、自分たちの業務の品質が地域の皆さまや家族の暮らしにも影響しかねないと再認識した。

伝承館では、福島第一原子力発電所事故以前の地域産業、地震や津波の被害、事故の経過など様々な映像資料や物品展示を見ることができ、二度と起こしてはいけないと感じた。

●若手運転員の取り組みについてはP3、4「発電所の一員として」でもご紹介しています。

7号機にある使用済燃料38体を3号機へ輸送しました

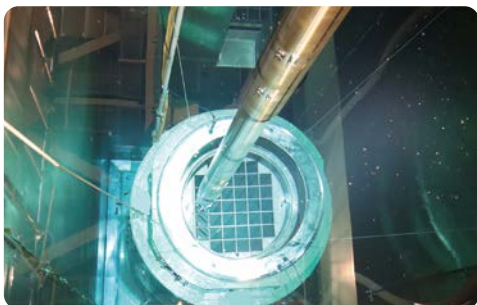
7号機の使用済燃料プールの貯蔵率は約97%（貯蔵量の約3割は他号機の使用済燃料）となっています。その貯蔵率を低減するために、7号機にある使用済燃料38体を3号機へ輸送しました（輸送完了9月15日）。

今年度中に残り342体の号機間輸送を予定しており、引き続き安全最優先で作業を行ってまいります。

【輸送作業の状況について】

■主な作業

- ①9月6日／7号機使用済燃料プール内へのキャスク※の搬入 ※使用済燃料専用の輸送容器
- ②9月7日／使用済燃料をキャスクへ装填



7号機にある使用済燃料をキャスクへ装填

- ③9月8～10日／7号機原子炉建屋最上階での作業



キャスクを使用済燃料プールから吊り上げ

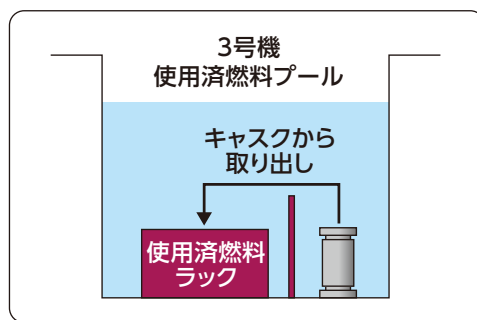
- ④9月11日／7号機原子炉建屋最上階から輸送車両へ吊り降ろし

- ⑤9月12日／7号機から3号機へキャスク（使用済燃料38体入り）輸送



3号機へキャスクを輸送

- ⑥9月13・14日／3号機原子炉建屋最上階での作業
- ⑦9月15日／使用済燃料を3号機使用済燃料プール内へ移動



号機間輸送の様子は
YouTubeでも紹介しています



リサイクル燃料貯蔵株式会社 (RFS) へ輸送完了について

号機間輸送とは別に4号機にある使用済燃料69体を青森県むつ市にあるRFSへ輸送しました。（輸送完了9月26日）





安全意識をさらに高め、 地域の皆さまが安心できる運転員になります。

長期の運転停止により、実際に発電所の運転を経験していない運転員は約35%になります。運転未経験者に対しては、ベテランの運転員とともに教育や訓練を行い、運転知識の継承に取り組んでいます。また、共通する設備の多い火力発電所や稼働している他社の原子力発電所に行き、プラント運営に必要な感覚や経験を高めています。今回は、運転未経験の若手運転員2人に自身の業務に対する想いを聞きました。

(2024年9月取材)

Profile

豊田 遙己

柏崎市出身。柏崎市在住。2015年入社。柏崎刈羽原子力発電所に配属。新入社員研修を経て、6/7号機の補機操作員*として現職に至る。

【休日の過ごし方】子供が喜ぶことに全力を注いでいます。

*補機操作員とは、現場の巡視・点検などを行う操作員のこと。



東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所
第二運転管理部

とよた はるき
豊田 遙己



第二運転管理部

あかいわ さとる
赤岩 哲

赤岩 哲

東京都出身。柏崎市在住。2021年入社。柏崎刈羽原子力発電所に配属。新入社員研修を経て、6/7号機の補機操作員として現職に至る。

【休日の過ごし方】仕事のある日は家事や育児の面で妻に負担をかけている分、全力で家事育児をしています。また、妻と1歳の息子と一緒に公園などに行ってリフレッシュしています。

— 普段の業務内容を教えてください。

豊田 私は、補機操作員として協力企業作業員の皆さんの安全確保に努めています。例えば、現場での設備点検の際、作業員の皆さんが感電等の災害にあわないよう電源を切るといった安全処置がこれにあたります。また、日頃から緊急時に備えた訓練も実施しています。

赤岩 私は、主に設備に異常がないかの巡視点検や非常用設備等の運転試験を実施しています。試験では現場へ出向き、設備の動作に不具合がないかの確認や設備の振動等の計測をしています。常に監視し、設備の不具合にいち早く気付けるよう心がけています。

— これまでの運転未経験者への教育で印象に残っているエピソードはありますか？

豊田 実際に運転している火力発電所や他社の原子力発電所へ出向き、動いている設備の音や温度、現場の雰囲気等を体感する訓練に参加しました。運転員が設備の監視に集中している中央制御室内の様子にとっても緊張するとともに、運転員の責任の重さを再認識することができました。発電所に戻ってからは、現場パトロールをする際には、動いていない設備においても動いているところを想像しながら点検しています。

赤岩 研修で、福島第一原子力発電所事故当時の経験者の講話を聞きました(P1参照)。設備の改造や新しい安全対策設備の導入により安全レベルは上がっていても万が一の事も考える必要があります。「対処するためには、ただ訓練や過去の運転経験の情報をインプットするだけでなく、想像力を働かせ実際の作業手順等に知識を落とし込むことが重要」「それらの応用により初めて想定外に対処できる」といった講話の内容でした。より一層、日頃の訓練や過去の運転情報の活用、実際に現場で応用することの重要性を認識しました。

— 配属された当初から意識の変化はありましたか。

豊田 配属されてから、10年経ちました。現場のどこに何の設備があり、その設備はどのような時に起動するのかといった現場の知識は十分に学んできています。現在は

現場へ出向いている運転員に中央制御室から指示を出す役割を担っています。現場を知っていることはもちろん、相手に伝わる指示を出すことが重要になってきます。指示をする上でどのように伝えたら相手に伝わるのか、また本当に伝えた内容を理解してもらえたかまで確認するという意識が変わりました。

赤岩 配属された当初は、運転員としての知識習得に精一杯で視野が狭かったと思います。第一線での経験を積むにつれ、原子力発電所で働くということがどのようなことなのか、知識レベルだけでなく、高い安全意識や倫理観なども要求される職場であるといったことを身にしみて感じるようになりました。地域の皆さまが安心できるように運転員としてどのようにふるまうべきかという視点で業務に取り組むように意識が変化したと思います。

— 柏崎刈羽原子力発電所で働く一員(運転員)として地域の皆さまへメッセージをお願いします。

豊田 柏崎市で私は生まれ育ち、とても思い出がある街です。地域の皆さまに安心していただけるように、安全な発電所を目指して業務に取り組んでいきます。

赤岩 研修を通じて、福島第一原子力発電所事故の経緯と教訓を改めて知ることができました。二度と福島第一原子力発電所のような事故を起こすことなく、地域の皆さまが安心して暮らせるよう、高い安全意識と誠実な行動で発電所の安全を守り続けるために尽力していきます。

2人と共に業務に取り組んでいる 上司に話を聞きました。

たんの みつり
丹野 光徳 第二運転管理部

2人も前向きで自分の意志を持って業務に取り組みつつ、悩みなどは相談してくれています。研修を通じて、運転員として成長するとともに、地域の皆さまへの意識が高まっていることを感じます。これからもマイブラント意識*を持って、安全な発電所を目指して業務に取り組んでほしいです。

*自分が働く号機は自分の家(マイホーム)と同じ意識で責任を持って安全を高めること



おしえて! エコロン



Q 火災のリスク低減を目指して どのようなことをしているの?

過去、コンセントに焦げ跡が見つかるといった電気火災が発生しました。

そこで協力企業の皆さんも含む発電所の品質・安全担当や防火担当で構成される火災防止チームを作り、火災のリスク低減を目指して取り組んでいます。

勉強会を行い、各協力企業の防火担当者に対し過去の災害事例等を用いて、ルールの振り返りや電気火災はなぜ起きるのかといったメカニズムを伝え、電気火災の発生原因を取り除く取り組みを行っています。

さらにこういった場で学んだことを活かすために定期的に現場のパトロールを実施しています。この両面で火災防止に対して高い意識を継続的に保てるよう工夫しています。

私がお答え
します!



原子力安全センター
安全総括部 品質・安全担当
うすぐり としお
殖栗 敏雄



勉強会の様子



パトロールの様子

Q 勉強会やパトロールの他にも なにか対策を実施したことはあるの?

過去にコンセントに焦げ跡が見つかった際の、電気火災事案の原因はコンセント周りに付着した埃でした。

今では月1回、協力企業の皆さんも社員も全員、「自分が使用しているコンセント周りの清掃」と「使用していないコンセントには必ずコンセントキャップを取り付ける」など対策をしています。

引き続き、他社の火災事案も含め情報収集を行い、積極的に対策を取り入れてまいります。



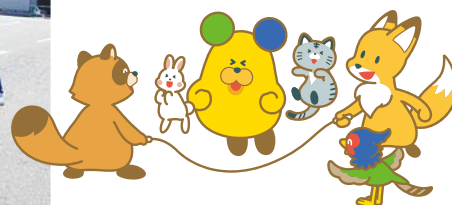
コンセントキャップ装着の一例

協力企業の皆様との大縄跳び大会

発電所では、構内で働く者同士がコミュニケーションを図るための活動として様々な構内イベントを昼休みに行っています。その一環として、9月24日～25日に構内大縄跳び大会が開催されました。各企業から全28チームが参加し、とても白熱した大会となりました。YouTubeでも過去の構内イベントの様子を紹介しておりますので、ぜひご覧ください。



過去の大縄跳び大会の様子



Webアンケートはこちら

添付のはがきの代わりに、Webからでもアンケートにご回答いただけます。右の二次元コードからアクセスしてください。発電所に対するご意見・ご要望もご記入いただけます。



発電所公式LINEアカウント

イベント情報やクーポンなどを毎月配信中!



きりとり線 ✂



発電所公式Instagram

発電所の日常や設備などの写真、リール動画を投稿しています!



- ① 発電所に対するご意見や改善点などがありましたらお聞かせください。
- ② 皆さまが発電所について知りたいことをお聞かせください。
- ③ YouTube動画をご覧いただき感想がありましたらお聞かせください。

■ 読者プレゼントに応募する

ご希望の方は右の欄に○をお付けください。



Webアンケートでご応募いただくと、当選確率がUPします。

※裏面のお名前、年齢、ご住所、電話番号を必ずご記入ください。
なお、ご記入いただく内容については、お間違いのないようお願いいたします。

サービスホール10月の催し **参加無料**

工作教室

土・日・祝開催 9時～16時30分
※12時～13時を除く

毎月違った3種類の工作をご用意♪
難易度に合わせて、小さなお子さまでも
楽しくチャレンジできます。



ハロウィン・ライト



ミニ運動会



パタパタ小鳥

お問い合わせ／柏崎刈羽原子力発電所サービスホール TEL.0120-344-053 (9時～17時)



料金受取人払郵便

郵便はがき

945-8790

柏崎局
承認

69

柏崎市青山町16番地46

東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所
広報部 行

差出有効期間
2024年11月30日
まで

(切手不要)



ふりがな 年齢 歳

お名前 男・女・回答しない

〒

ご住所

電話番号

ご記入いただきました内容については、商品の発送、紙面づくり等に利用いたします。また、個人情報については適切に管理いたします。(2024年10月号)

きりとり線
✂

東京電力ホールディングスYouTubeチャンネル

今月のおすすめ YouTube動画



発電所の日常～柏崎市消防署との合同訓練～

自衛消防隊を組織し、
速やかに消火を行う訓練を
日頃から実施しています。
この動画は、公設消防とも
連携した訓練の様子を
紹介しています。
ぜひご覧ください!



ニュースアトムは、発電所広報施設(サービスホール、カムフィ、き・な・せ)に配置しています。ご自由にお持ちください。また、発電所ホームページでもご覧いただけます。



■今月号の表紙「紅葉と刈羽黒姫山」

撮影場所: 柏崎市久米
撮影時期: 2023年11月



2024年10月6日発行

●編集発行責任者
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所 広報部
企画広報グループマネージャー
〒945-8601
柏崎市青山町16番地46
☎0120-120-448
(平日9時～17時)

《検索》

柏崎刈羽原子力発電所 🔍